

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 3 日（火） 14：00～15：20
開催場所	橋南西会館（大ホール）
参加人数	9 人
出席議員	月田光明副議長 高橋一彦議員（座長・議会運営・経済建設） 三木 均議員（総務文教） 続木敏博議員（民生福祉） 草島守之議員（石炭対策）
質疑応答の内容	<p>問：今年も路線価が下落し、釧路町との差が縮まった。そのうち、釧路市が釧路町に吸収されるのではないか。</p> <p>答：釧路町は商業施設が多い地区のため、地価の下げ止まりにつながっていると考える。公共施設や生活基盤整備などの面で、釧路町は釧路市と一体の部分が多く、ご指摘の事態は起こりにくいととらえている。</p> <p>問：北大通の活性化策として、釧路駅の高架化の話があったが先が見えていない。また、北大通の再開発事業も取り組まれているが、状況は一進一退しているように思える。</p> <p>答：中心市街地の厳しい状況を踏まえた中で、駅の再開発は現在棚上げとなっている。駅の高架化が津波に対してどういう効果をもたらすかを含め、今後も議論していかななくてはならない。また北大通の再開発も、地権者の関係もあって進んでいない状況で、これからも議会として議論していかななくてはならない。</p> <p>問：津波対策として、釧路川に堤防が必要と考える。</p> <p>答：防波堤は道の管轄であり、道に対し要望できるか委員会の中でも議論していきたい。</p> <p>問：特別養護老人ホームについての報告があったが、民間の施設では金額が高く、また待機者数も多いため、</p>

	<p>なかなか入所できない状況にある。学校の統廃合による空き校舎を活用することで、安価で待たずに入所できる施設を、市として整備できないか。</p> <p>答：特別養護老人ホームをもっと増やすべきとの声もあるが、そのためには介護保険料が非常に高額になってしまう。また介護保険は国の制度で、市が自由に整備できるわけではない。学校の再利用は、補助金の関係もあり教育施設に限られることになるが、研究・検討の余地はあると考える。</p> <p>問：事業仕分けについて、本来、事業の適否は議会に諮られるべきものと思うが、なぜか「仕分け」という形が先行してしまっている。議会との関係はどうなっているのか。</p> <p>答：事業仕分けは、市の事業を多くの市民に知ってもらうことを目的に行うとのことである。判定結果はあくまで参考意見として聞き置き、市として必要があれば議会に諮るものであるが、誤解を招きやすい構造であり、3年間実施したいという市長の強い意向により実施している。仕分け結果イコール結論ではないということで、ご理解いただきたい。</p> <p>問：地熱発電について報道されているが、市としてはどのような考えを持っているのか。</p> <p>答：阿寒湖畔での地熱発電開発については、地元の反対もありストップしている。また国において、温泉水を再利用したバイナリー発電導入の可能性も検討されており、いずれ議論が始まるものと考えている。また釧白工業団地において、メガソーラーパネル(大きなスケールの太陽光発電)進出の予定もあり、今後具体的に進められるものにとらえている。</p>
<p>議会への 要望</p>	<p>—</p>

市への 要望	<ol style="list-style-type: none"><li>1 道の津波浸水予測図が発表されたが、当地域は、避難所であったシーサイドホテルが現在閉館しており、地域としての対策が必要と考えている。</li><li>2 先に市政報告会で、『市役所6つの改革』というものが示されたが、当たり前なのが市役所の中で実行されていないのかと感じた。</li></ol>
-----------	---